



神戸町 防災士会だより

防災士とは

防災士は、阪神・淡路大震災の教訓の伝承と市民による新しい防災の取り組みを推進し、我が国の防災と危機管理に寄与することを目的に2002年（平成14年）に創設されました。国を始めとする公的な財政支援によるものではなく、純然たる民間自律の発想と、民間パワーによる努力によって地域防災の向上に貢献しています。

防災士とは“自助”“共助”“協働”を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を習得したことを日本防災士機構が認証した人で、現在全国に約233,000人います。

神戸町防災士会は2009年（平成21年）に創設され、神戸町の安全・安心に係る防災活動を行い、防災士の認知度向上を図り、地域防災力の向上と発展に貢献することを目的にしています。



▲神戸町防災士会のみなさん

～今やろう！4つの備え～

災害時に自分や家族の身を守るのは、防災に関する知識と日ごろの「備え」です。まずは以下の4つの備えを意識することから始めましょう。

- 1 物の備え**
発災時になにより不可欠なのが、食料品や生活必需品の蓄えです。在宅避難をし、そして生きるための備えをしましょう。
- 2 室内の備え**
家具類の下敷きにならないよう、転倒・落下・移動防止や、ガラス飛散防止対策等をする必要があります。通路を物でふさがらないことも大切です。
- 3 室外の備え**
安全に避難できるよう、家の周りの状況や危険度を知っておくことや避難経路を調べ、事前に歩いてみることも重要です。
- 4 コミュニケーションという備え**
災害時には近隣の住民同士の協力が必要です。普段からご近所の方とあいさつを交わし、町内会主催などの防災訓練や行事に積極的に参加しましょう。



神戸町 消防団だより

岐阜県消防操法大会 健闘！

神戸町消防団第二分団



8月7日（日）、山県市伊自良総合運動公園において「第71回岐阜県消防操法大会」が開催され、各地区大会を勝ち抜いた20の消防団が出場しました。

安八郡大会を勝ち抜いた第二分団は、5名の選手（指揮者：宗宮 歩、1番員：土屋義則、2番員：多和田政和、3番員：前阪直孝、吸管補助員：高橋徹也）が素晴らしい操法を披露し、見事10位入賞（優良賞）を果たしました。

県大会に出場した今回の経験を今後の消防団活動に活かし、町民の生命・財産を守るため、日々活動していきたいと思っております。ご声援ありがとうございました。

総合防災訓練中止のお知らせ

9月4日（日）に予定しておりました町主催の総合防災訓練は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止します。